

校内研修資料

通級指導教室・

特別支援学級について

平成31年4月

特別支援教育コーディネーター

向井 美穂

【主な内容】

- 1 通級指導教室について
 - (1)「通級による指導」とは？
 - (2)指導の実際
- 2 特別支援学級について
- 3 交流及び共同学習
- 4 障害に対する理解学習

1 通級指導教室について

(1)「通級による指導」とは？

通常の学級に在籍する比較的軽度の障害のある児童生徒に対し、その障害の状態に応じて、週に1時間～8時間(単位時間)の範囲において特別の指導を行う教育形態

本校→(基本)一人2時間/週

通級形態

主に3種

- 自校通級 (←本校)
- 他校通級
- 巡回通級

対象者は？

- 一 言語障害者
- 二 自閉症者
- 三 情緒障害者
- 四 弱視者
- 五 難聴者
- 六 学習障害者
- 七 注意欠陥多動性障害者
- 八 その他障害のある者で、この条の規定により特別の教育課程による教育を行うことが適当なもの

学校教育法施行規則第140, 141条が根拠規定

通級による指導を受ける条件

(1) 規定にある障害を抱えて困難な実態があること

※ 知的障害は含まれない

(2) 通級指導教室での学習を保護者が希望し、合意が得られること

(3) 専門的・総合的な判断(教育支援委員会)により、
通級指導教室への入室とされること

「特別の教育課程」と「みなし」の規定

第141条

「特別の教育課程」を編成

→通級による指導で受けた授業を、

在籍する小学校における教育課程に

係る授業と「みなす」ことができる。

必要な公簿類

各担任に関わるもの…

- 個別の教育支援計画・個別の指導計画の作成
- 指導要録に記入
 - ・通級による指導の授業時数
 - ・指導期間
 - ・指導内容・結果等

(2) 指導の実際

• 指導形態

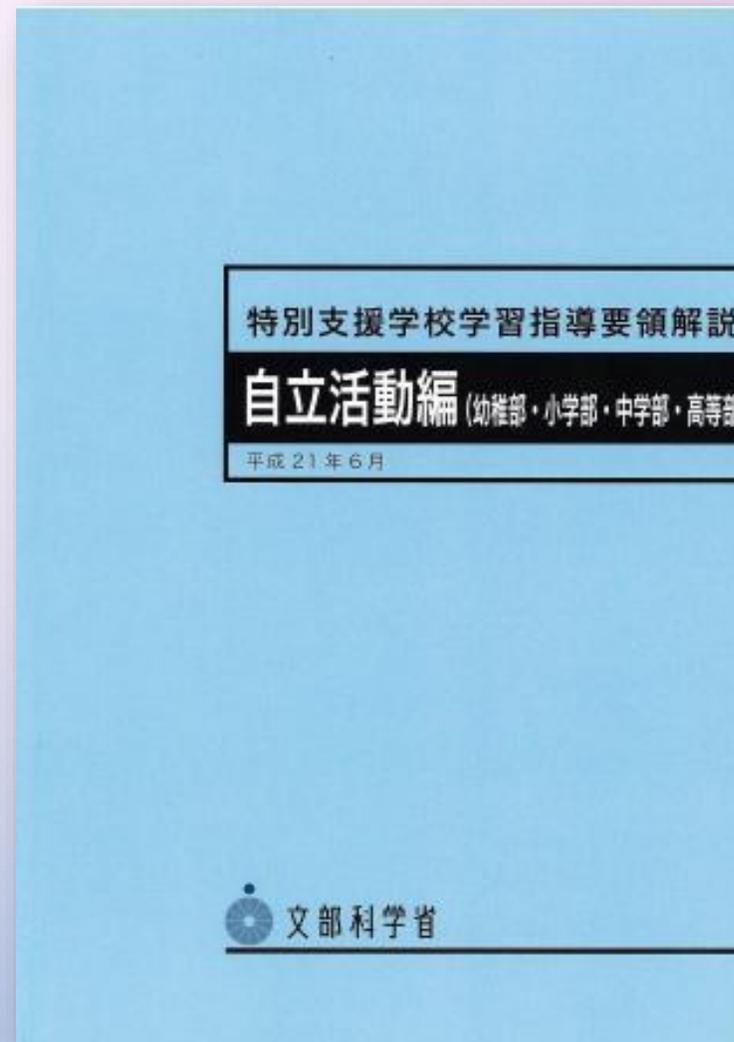
- 個別指導
- 小グループ指導(3～6名)

指導内容

自立活動

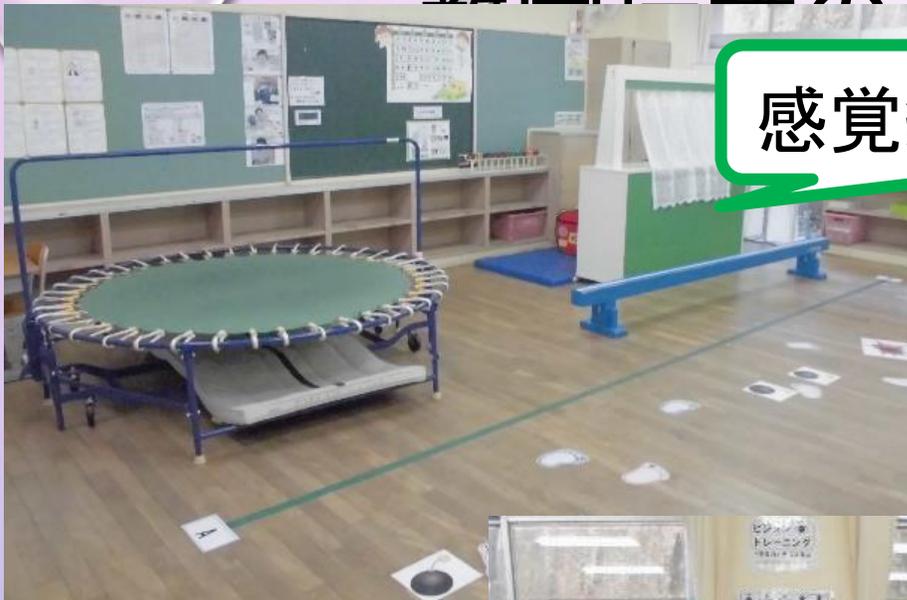
6領域 26項目

- 1, 健康の保持
- 2, 心理的な安定
- 3, 人間関係の形成
- 4, 環境の把握
- 5, 身体の動き
- 6, コミュニケーション

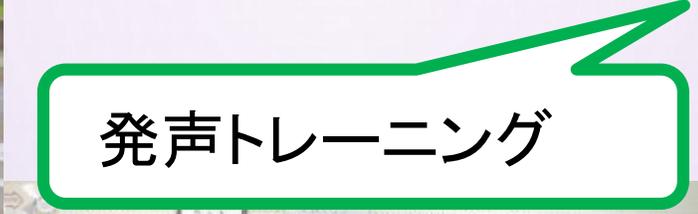


～特別支援学校学習指導要領解説 自立活動編～ より

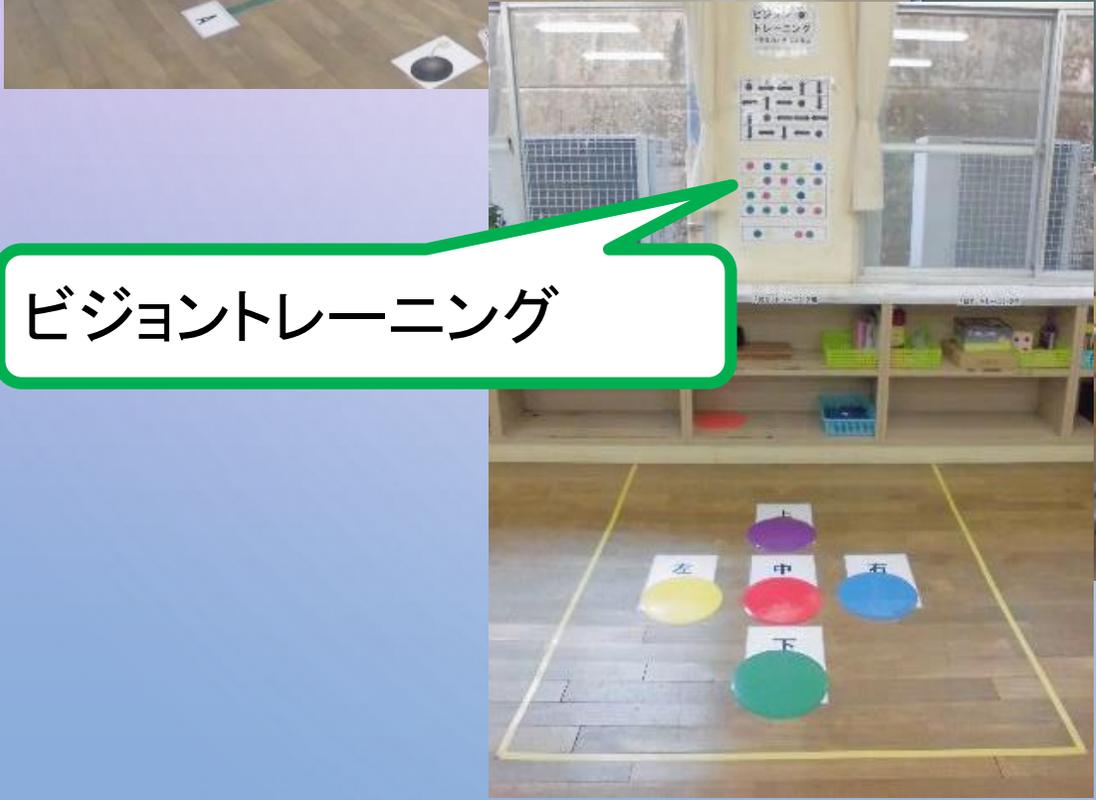
教育環境の工夫（学習場所の区分け）



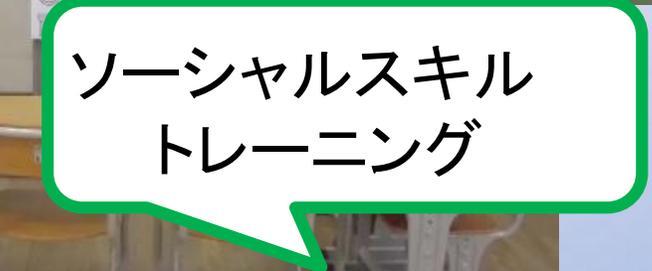
感覚統合運動



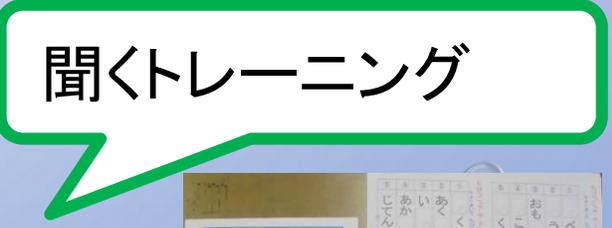
発声トレーニング



ビジョントレーニング



ソーシャルスキル
トレーニング



聞くトレーニング



通級対象児童の担任へお願い

通級で抜けた授業の

- **ノートか板書のコピー**を
児童に渡してください



2 特別支援学級について たんぽぽ1組（知的障害学級）

自立活動「指先の訓練」

教科学習「個に応じた学習」

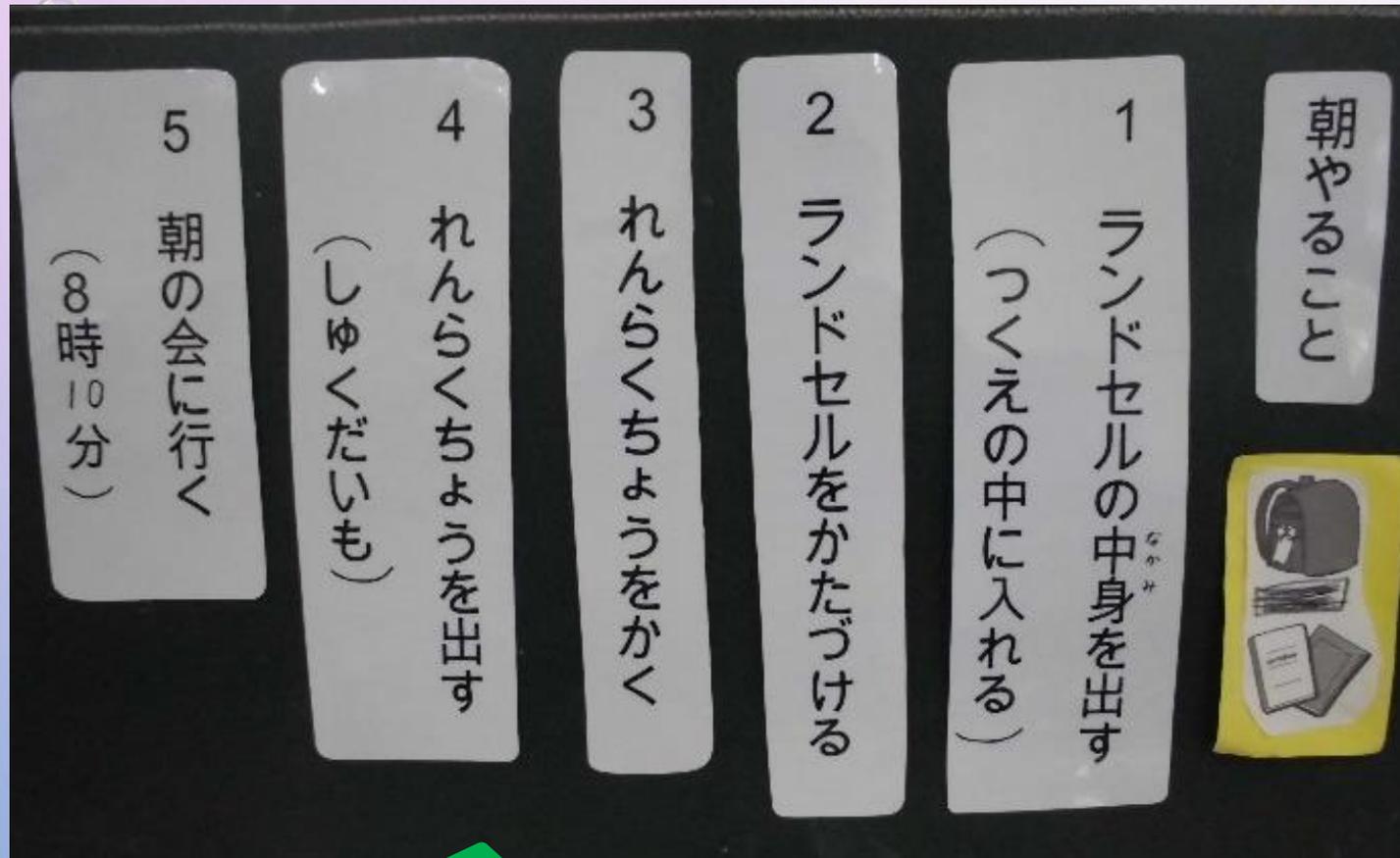
たんぽぽ2組 (肢体不自由特別支援学級)

フジで買い物の勉強

絵本『はらぺこあおむし』で
言葉やマッチングなどの学習



たんぽぽ3組（自閉症・情緒学級）



手順表を見て朝の準備

具体物を使って，学習

3 交流及び共同学習について

- <小学校学習指導要領> (平成20年3月告示)

第1章 総則 第4の2

(12) (略) 障害のある幼児児童生徒との交流及び共同学習や高年齢者などとの交流の機会を設けること。

- → 障害のある子どもと障害のない子どもが活動を共にする機会を積極的に設けるよう示されている

交流及び共同学習を展開していく上で・・・

★互いに必要性・意義等について理解し合えるように

(通常学級担任・児童 ↔ 特別支援学級担任・児童)

①両者の成長につながることを共通理解する

どのような教育効果があるのか明確に！

②両者が話し合う機会を計画的に確保

活動の意義・ねらい・接し方の共通理解を！

③目標の達成度についての評価(毎時間)

自立活動・教科のねらい

4 障害に対する理解学習について

•【基本姿勢】

障害の有無にかかわらず、

共に育つ仲間として

共感し合える心と、

互いの人権を尊重する態度を養う

通常学級側からの見方

★互いに認め合い、

自分達のクラスメイト！

仲間として共感できるように！

(例)「何のためにあるの？」

→「〇〇さん・くんが学びやすい環境で、

個々に合わせた必要な学習をするためだよ」

(眼鏡があると見えやすい、手立てがあると分かりやすい・・・と同じ)

特別支援学級側からの見方

★社会の一員としての自覚・仲間意識が
もてるように！

自分達のクラスメイト！

★特別支援学級だけでは得られにくい
多様な生活経験ができるように！

★個々の課題を再確認し、指導を見直す！

おわり

